

PORTFOLIO.

Selected work: 2022 - 2025



菅澤 薫

SUGASAWA KAORU

菅澤 薫

SUGASAWA KAORU

- 1989 埼玉県に生まれる
2014 埼玉大学大学院で修士号（教育学）取得
2019 筑波大学大学院で博士号（芸術学）取得
現在 浜松学院大学短期大学部（幼児教育科）准教授

■主な受賞

- 2015 第2回CAF賞展 入選(3331 Arts Chiyoda/秋葉原)
2015 第2回TERRADA ART AWARD入選(T-art gallery/天王洲アイル)
2016 明日をひらく絵画 第34回上野の森美術館大賞展 優秀賞(上野の森美術館/上野)
2017 FACE展 2017 損保ジャパン日本興亜美術賞展 入選('18)(東郷青児
2021 記念 損保ジャパン日本興亜美術館/新宿)
第23回雪梁舎 フィレンツェ賞展 佳作(雪梁舎美術館/新潟、東京都美術館/上野)
2025 第24回アートギャラリーホーム 若築建設賞(チャームスイート西新宿/新宿)

■スカラシップ

- 2015 公益財団法人佐藤国際文化育英財団 平成27年度 第25期奨学生
2015 第30回ホルベイン・スカラシップ 奨学生

■レジデンス

- 2022 2022年度 浜松市鴨江アートセンター制作場所提供事業
アーティスト・イン・レジデンスに採択

■個展

- 2018 菅澤薫個展『想いの欠片』（アートもりもと/銀座）
2019 菅澤薫個展『歪な巣』（コート・ギャラリー国立/国立）
2021 菅澤薫個展『密やかな巣』（アートもりもと/銀座）
2023 菅澤薫個展『みちたりて、ひかり』（鴨江アートセンター/浜松）
その他、グループ展多数

- 所蔵 上野の森美術館、寺田倉庫、チャームスイート西新宿





作品や制作について

花や自然の姿を通して、記憶や感情の余韻を描き出すことを大切にしています。花々は単なるモチーフではなく、心の奥に眠る思い出や、ことばにできない感覚を映し出す存在です。なかでも春の花を描くことは、季節を写すことにとどまらず、人々の心に訪れる希望や再生の感覚をかたちにする営みでもあります。作品を通して、見る人の心に小さな光や温もりを届けられれば幸いです。

また、絵画にとどまらず、空間を彩る「花だるま」やアパレル・映画への作品提供など、多様なかたちで表現の場を広げています。制作の根底には、「アートが人と人をつなぎ、日常に物語を添えることができる」という思いがあります。その想いの先に、鑑賞者それぞれの記憶や体験と静かに響き合う時間が生まれることを願っています。



息もつまるほどの幸せ

2024年

45.5×53.0cm

石膏地にアクリル・油彩



忘れられた優しい記憶

2025年

45.5×53.0cm

石膏地にアクリル



暗闇を抜けて

2025年

72.7×91.0cm

石膏地にアクリル・油彩



春のまばたきの向こうに

2025年

22×27.3cm

石膏地にアクリル・油彩



花はこぼれ、光は満ちる

2025年

27.3×22cm

石膏地にアクリル

1.



2.



3.

4.

1. 「みちたりて (エリンジウム)」

2022年

22.7cm×15.8cm

石膏地にアクリル・油彩

2. 「みちたりて (ヒマワリ)」

2022年

22.7cm×15.8cm

石膏地にアクリル・油彩

3. みちたりて (ミモザ)

2023年

22.7cm×15.8cm

石膏地にアクリル・油彩

4. 「みちたりて (ダリア)」

2022年

22.7cm×15.8cm

石膏地にアクリル・油彩



DESIN DARUMA



「花だるま (ラナンキュラス ラックス)」

2025年

高さ:約29cm、幅:約25cm、奥行き:約28cm(だるま9号)

胡粉地にアクリル

DESIN DARUMA
@ GOOD TIMING TEA(静岡)

2025年 2/8(SAT)~2/24(MON)

販売実績：イタリアンレストランでの採用例



TRA EVO（トラエボ）（静岡県静岡市）

「花だるま（ラナンキュラス ラックス）」

2025年

高さ:約29cm、幅:約25cm、奥行き:約28cm(だるま9号)

胡粉地にアクリル

雑誌掲載：浜松クリエイターズファイルVol.1



菅澤薫

SUGAWA Kaoru 画家

Instagram @sugasawa.kaoru
 X @Runrun1114
 Facebook kaoru.sugasawa
 TikTok @sugasawaKaoru

複雑な感情や身体的感覚を描く

複雑な感情や身体的感覚を、人物とストッキングを組み合わせ、テンペラと油彩の混合技法で表現。浜松の自然に触れるうちに、「感情を描くに人物は必ずしも必要なのでは？」と思うようになり、近年は花を描くことで「息をのむような幸福感」を探索している。埼玉県出身。2019年に筑波大学大学院で博士号(芸術学)取得後、浜松に移住。現任、浜松学芸大学短期大学部常務教授、上野の森美術館大賞展優秀賞など受賞歴多数。※作品は上野の森美術館、寺田倉庫に所蔵。

2019年まで関東に在住し、東京を中心に展覧会を開催してきました。浜松に拠点を移してからは、テンペラ技法や子ども向けのワークショップを行い、地域の人々との関わりを大切にしています。浜松には魅力的な企業が多く、この地で活動するからこそ、地元企業と連携し、地域を盛り上げていきたいと考えています。具体的には商品の包装紙やギフトカードに作品を採用いただくなど、アートを身近に感じてもらえる企画を展開し、多くの人とのつながりを広げていきたいです。



1 『やさしい道を手繰り寄せて』(2024年)素材:石膏地にアクリル・油彩 2 『息もつまるほどの幸せ』(2024年)素材:石膏地にアクリル・油彩 3 『管絃楽団集つむぎで、ひかり』(2024年)SAGAI FINE ARTS 展覧会出品

浜松市内で活動するクリエイター35名の1人として掲載



発行：浜松アーツ&クリエイション
 編集：浜松アーツ&クリエイション、DORP実行委員会
 デザイン：宮下ヨシヲ
 イラスト：いきものだものイラストレーション
 発行日：2025年3月

アパレルコラボ例

*fashion
collaboration*



Re:vius × 菅澤 薫 コラボグッズ販売決定！！



【Tシャツ】
4000円
S~XXLサイズ

【スウェット】
6000円
S~XLサイズ

【トートバッグ】
2500円
S~Lサイズ

販売(受注)期間 3/7(金)18:00~3/21(金)23:59



チャームスイート西新宿

第24回アートギャラリーホーム 『若築建設賞』受賞（2025年）

介護付有料老人ホーム「チャームスイート西新宿」における生活空間を彩るアート作品を全国から募集した本企画にて、平面・立体あわせて572点の応募の中から入選40作品のひとつに選出され、さらに受賞7作品のひとつとして『若築建設賞』を受賞。

本公募は、高齢者の豊かな生活空間の創出と若手アーティストの育成を目的とした「アートギャラリーホーム活動」の一環として行われている。

受賞作品は、施設の入口ロビーに常設展示されており、来訪者を迎える空間の一部として、日常的に人々の目に触れる機会を得ている。



映画「イニシャルイズ」にて作品提供

2026年に各映画祭に出品予定



浜松市出身の映画監督・原宏樹が手掛ける地元を舞台にした映画「イニシャルイズ」。自然や文化が豊かな浜松を通して、無駄と思われがちなゆったりとした時間を描く。原監督は、せわしなく進む現代社会は面白みに欠けるとして「豊かに生きるために立ち止まって考えてみてほしい」と訴える。(中日新聞2025.7.17より抜粋)

《提供作品》



《特別キャスト》





やさしい過去を手繰り寄せて

2024年

91.0×91.0cm

石膏地にアクリル・テンペラ・油彩



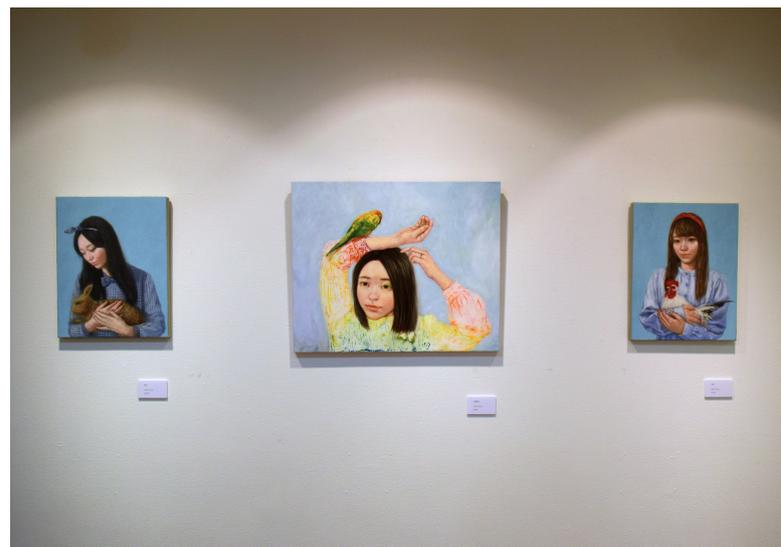
個展 密やかな巢

そこは 育てるところであり
あたためる場所

みちたりて
みちあふれ

去りゆく跡は 色濃く残る

アートもりもと/銀座
2021.2.12_Fri - 2.20_Sat





あたためる場所

2020年

53.0×45.5cm

石膏地にアキーラ・アクリル・テンペラ・油彩



あたたかな場所

2021年

45.5×53.0cm

石膏地にアキーラ・アクリル・テンペラ・油彩



色が灯る

2020年

41.0×31.8cm

石膏地にアクリル・テンペラ・油彩



色濃く残る

2020年

41.0×31.8cm

石膏地にアクリル・テンペラ・油彩

アーティスト・イン・レジデンス成果発表

個展 みちたりて、ひかり



会場1 浜松市鴨江アートセンター2階202号室／浜松
2023.2.11_Sat - 2.28_Tue

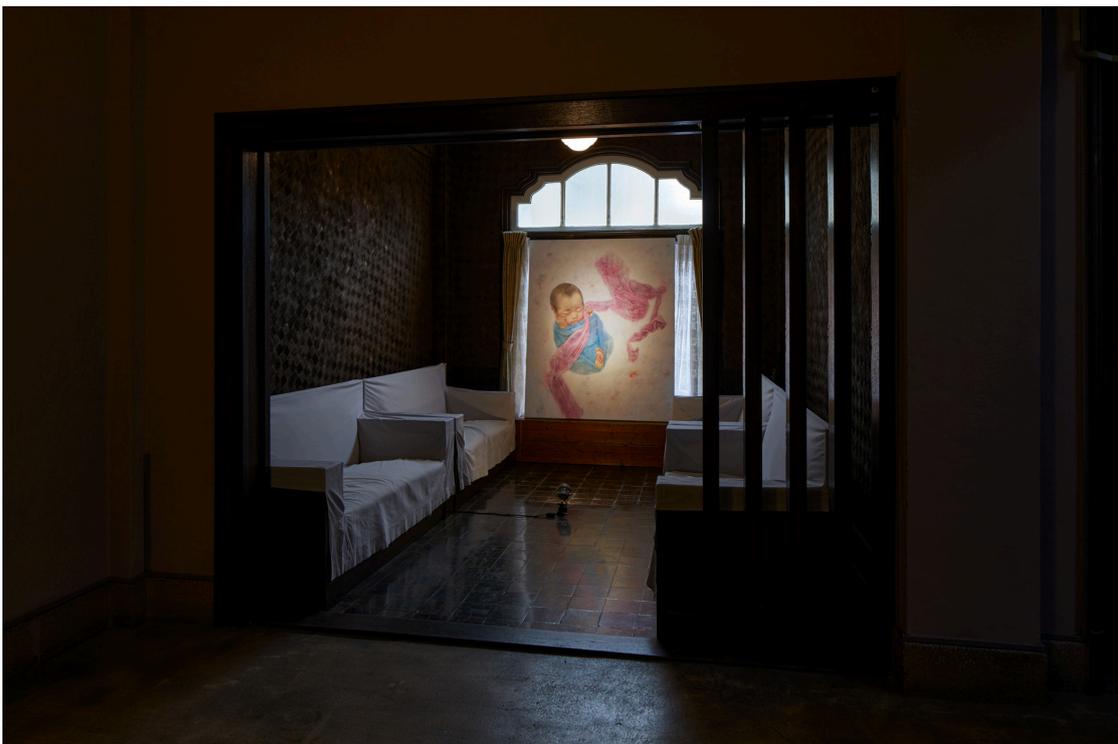
photo by otsuka keita



本展では光のうつろいが異なる二つの会場で作品発表を行った。
二会場は道路を挟んで向かいに立地している。

「展覧会タイトル」の「みちたりて」には、

「みちたりてほしい」(願望)と「みちたりた」(充足感)の2つの意味が掛け合わされている。
人生はこの二つを行ったり来たりするものかもしれない。



会場2 木下恵介記念館2階
旧喫煙室／浜松
(浜松市指定有形文化財)



きっと虹がかかるから#2

2022年

31.8×41.0cm

石膏地にアクリル・テンペラ・油彩

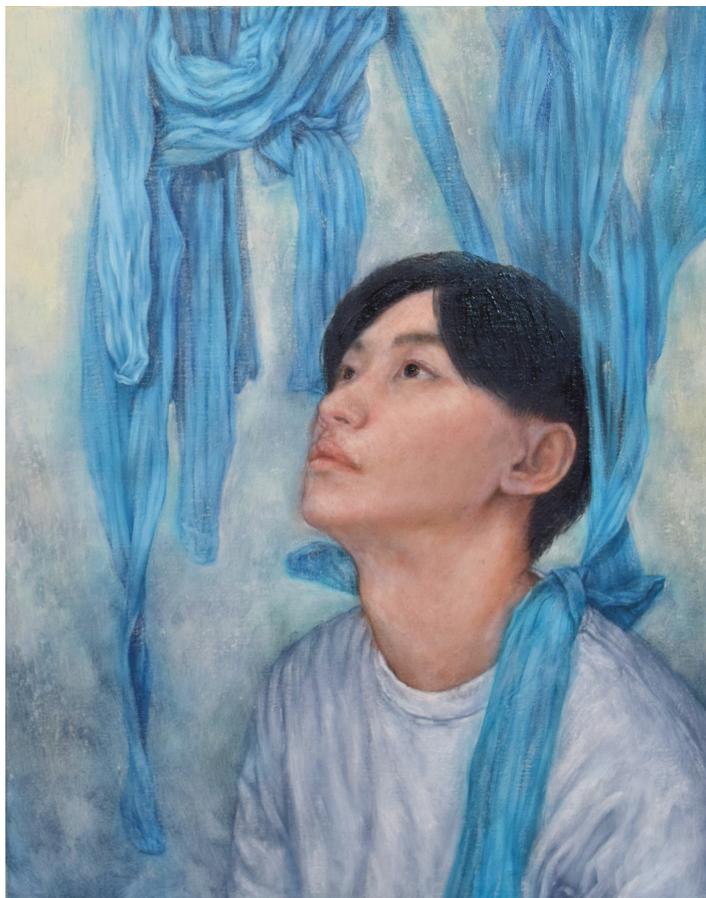


きっと虹がかかるから#1

2022年

27.3×22.0cm

石膏地にアクリル・テンペラ・油彩



いつか雨は上がるから#2

2022年

41.0×31.8cm

石膏地にアクリル・テンペラ・油彩



いつか雨は上がるから#1

2022年

27.3×22.0cm

石膏地にアクリル・テンペラ・油彩・洋箔